

# 校長だより

福津市立福間東中学校  
校長 猪股 清貴  
平成 27 年 7 月 1 日 No17

## 活用力診断テストにチャレンジしました!



6月29日(月)全校一斉に国語と数学の活用力診断テストにチャレンジしました。これは、福岡県の学力向上策の一環として取り組んでいるもので、政令市を除く県内全ての中学生が受験します。このテストでは、どれだけ教科の基礎基本を活用できるかということを実際に問題を解くことで見つめ直すことができます。また、教科で身につけた基礎基本がどんな場面で活用できるのかということを確認することもできます。考えたことは表現しないと伝わらないので、どうしても書かせる問題が多かったですね。今

授業では、ただ単に重要事項を暗記するだけの学習ではなく「なぜ?」「どうすれば?」ということを考えさせる授業が各教室で行われています。先生たちは基礎基本を確実に身に付けさせるとともに、それを活用して課題を解決していく「考える力」を身につけてもらおうと時間をかけて授業の準備をしています。

福岡大学の野口教授は次のように述べています。『**20年後には20億人分の仕事をロボットが行うようになる。**』とされています。つまり、**20億人分の仕事が無くなるということ**です。その時代に生き残るには、**子どもにどんな力を育てればよいのでしょうか。ロボットは電気さえ与えておけば文句は言わないし黙々と着実に効率よく仕事をこなします。そのような21世紀を生き抜くには、ロボットやコンピュータにできない人間なりの能力が必要です。**』

20年後、皆さんは社会の第一線で活躍している年代です。「考える力」を身につける。このことを意識しながら授業に臨むことが大切です。

(上の写真は、全校一斉に活用力診断テストに取り組む生徒たちです。)

## 気持ちよい朝を迎える

毎朝校内を回っているのですが、昨日はある教室の様子に感動し、早く皆さんに知らせたいとの思いで教室の鍵を開けカメラのシャッターを切りました。ここに紹介した写真は1年生のあるクラスの早朝の風景です。整然と並んだ机、ピカピカに磨かれた黒板、そして、何よりも一人一人きちんと整理されたロッカー。教室に入った瞬間、



見ている方がさわやかな気持ちになりました。こんな教室で朝を迎えられる人たちは本当に幸せだと思います。きっと放課後部活動で使用している吹奏楽部の人たちもきれいにしてくれているのですが、ロッカーの整理と黒板はクラスみんなの心がけだと思います。6月中頃から整理整頓された教室が少しずつ増えてきています。学びの場を整理整頓する。当たり前のことが当たり前になる環境ができつつあります。

